

会場との対話での話題

六ヶ所再処理工場の意義

米国におけるリサイクル政策

フランスにおける再処理の実績と

六ヶ所への技術協力

リスクと安全

暮らしの中の放射線

その他

六ヶ所再処理工場の意義

- 原子力推進、核燃料サイクル事業は雇用を促進する。県は高レベル廃棄物処分場を誘致し地域振興を図るべき
- 再処理工場における多重防護とは？
- 青森の地域産業に多大な効果をもたらしていることを県民はどの程度理解しているのか？
- 原子力施設では不良工事などで信頼が損なわれている。天然ウランの価格が下がっており態々再処理が必要でないのではないか。原子燃料サイクルより、安全なエネルギー資源へ投資したらどうか

米国におけるリサイクル政策

- 「閉じたサイクル(Closed Cycle)」の意味は？
(消極的なサイクルと一般には理解する)
- 第4世代原子炉とはどんなものか、今の軽水炉とに違いは
(軽水炉、高速炉それとも消滅炉？)
- A F C Iを具体的に教えてほしい
- A F C I, 第4世代原子力システムが実用できるのはいつごろか
- ユッカマウンテン使用済み燃料処分場が満杯になった場合、第2処分場を作るより、再処理政策に行った方が経済的にも魅力と考えているのか
(環境面からは再処理政策のほうが好ましいと信じているが)
- 複数回あるいは無限回リサイクルが可能か(ベネディクト、ブスケ両博士へ)
- 民主党、共和党と大統領の交代などによる政治的背景により再処理、高速炉などの継続開発が大きく影響を受けるように思われる。このために計画段階から先へ進展しないのではないのか。如何か？
- また、米原子力学会では一貫してリサイクルに取り組んできたのか、

フランスにおける再処理の実績と 六ヶ所への技術協力

- 仏フェニックス炉は増殖ではなく、消滅処理に使われているのでは？仏のサイクル政策の今後の方向は？その中での再処理工場の位置づけは？仏はプルサーマル用燃料だけを製造する計画なのか
- ラ・アーグ再処理工場からの放射性物質の大幅低減はなぜ可能になったのか
- 仏の地元では反対は無いということだが、日本、青森では根強い。この違いには何が要因となっているか？それに費やした時間や方法は？
- 仏から見て日本の進み方は遅いのか？ウラン試験が話題になっているがまだ議論が必要か、それとも時間を浪費しているだけか？
- MOX利用なぜ日本は反対が強く、仏では反対が少ないか
- ラ・アーグで小児白血病が多発しているのか？
- 0.022 mSv/y の被曝は健康に問題は無いのか

リスクと安全性

- 大切なのは国民、住民が「多重防護」の姿勢を理解し、信用しているかどうかだ。
(三菱重工も美浜(関西電力)も企業としては「多重防護」をとっていただろう)
- 国民に「再処理の安全性」を理解させるポイントは何だろう。
- 「我が国において国策を展開する役割は地方自治体が担っており、地方自治体は国策を具現化していくこととなる」と記載されているが、それで良いか？
- 我が国の原子力基本法等には規制当局としての国の責務、役割実施者としての事業者の責務、役割のみが規制されており、地方自治体の責務、役割の規定はないが、いかがか？

暮らしの中の放射線

- これまでも原子力施設から放出される放射線の生態系への影響が調べられてきたが、より一層深く調べることが「原子力」に対する不安をなくす大きな要素である。このための国際的枠組みが大切と考えるがその取り組みの現状は？
- 原子力施設での放射線量は他の工業利用と比較してどうか。半導体事業で被爆したという話は聞かないが、

その他

- 我が国では、資源、環境破壊を考えると原子力の利用、再処理は避けて通れない、当面の視点で経済的だという観点からだけでは論ずべきでない。
- 長期的視点、アジア、世界を考えてエネルギー問題を考えることが必要
- 再処理には湿式と乾式がある。メリット、デメリットは？乾式の開発状況は？